

地域計画策定に係る集落座談会の開催実績

令和6年9月20日現在

市町村名	対象地域数	開催数
島本町	2	2
高槻市	49	49
茨木市	45	37
摂津市	1	1
豊能町	9	9
能勢町	40	40
池田市	8	1
箕面市	8	8
和泉市	12	5
高石市	1	1
熊取町	7	3
田尻町	2	2
岬町	4	0
岸和田市	9	9
貝塚市	14	13
泉佐野市	10	10
泉南市	18	17
阪南市	3	1
太子町	5	3
河南町	7	0
千早赤阪村	9	9
富田林市	11	11
河内長野市	6	4
松原市	4	4
羽曳野市	15	3
大阪狭山市	8	1
八尾市	5	0
柏原市	7	1
東大阪市	3	3
枚方市	10	2
寝屋川市	8	1
大東市	1	1
四條畷市	6	6
交野市	7	3
堺市	13	4
合計	367	264

昨年度当初から9月20日までの座談会開催地区数複数回数座談会を開催しても1地区とカウント

第2回では町が地域計画案を説明し、今後、この地域計画の実現のための地域の役割や取組を示した上で、参加者で地域農業の将来について改めて話し合った。さらに、町からは計画策定後も引き続き地域で話し合い、必要に応じて計画変更を行うことも説明。

第2回座談会の意見では、町内の農地が狭小では規模拡大を志向する農家への貸借が難しいことから、体験農園の取り組みも有効である等の提案があった。

このケーススタディを基に、七山地区では隣接する貝塚市と合同で8月19日に第1回座談会を開催。今後は、残る地域でも座談会を開き、地域計画一案を作成する予定。



成合地区第2回座談会の様子

(藤岡)

エクセルを活用した一括更新システム研修をWEB開催

農業会議は8月22日、農業委員会サポートシステム一括更新研修会を開き、農業委員会担当者など26人が参加した。

同システムの更新にあたってはシステム上での入力により更新を行うだけでなく、エクセル等で編集可能なCSVファイルの出力してエクセル上の操作として一括で更新する機能が実装されている。

農地法第3、5条など案件業務に関わる項目以外にも法律上管理・公表が定められている項目がある中で、一括更新機能は、

農業会議は8月22日、農業委員会サポートシステム一括更新研修会を開き、農業委員会担当者など26人が参加した。

同システムの更新にあたってはシステム上での入力により更新を行うだけでなく、エクセル等で編集可能なCSVファイルの出力してエクセル上の操作として一括で更新する機能が実装されている。

件数の多い入力作業を行い、一つの項目をまとめて整備する作業に適しているとしてその必要性を説明し、各市町村農業委員会ででの作業実施につなげるために研修を行ったもの。

当日は、農業会議職員がデモ画面を参加者に共有し、一括更新作業用のCSVファイルの出力作業と、遊休農地区分や農地利用状況調査の実施日を全筆まとめて更新する作業を実演。また、農地法案件を複数件まとめて更新することも可能であり、対応項目についても説明した。

なお、1筆単位で個々の情報入力が必要になる場合には、1件ずつ入力するか、他に一覧化された元データとCSVファイルの農地情報を紐づける作業が

必要になるため、やや操作に習熟する必要があることに触れた。

各農委で遺漏なき更新対応を

同システムについては、台帳情報の管理・公表が法定化されているだけでなく、地域計画の目標地図素案作成や、計画策定後の農地利用に係る地図の変更作業にも必要であるほか、農水省が進めている電子申請サービスMAFFの基礎的な台帳情報として用いられる。

本記事の一括更新機能は同システム稼働後数年経過後に実装された機能であるほか、既存ページのサービスを活用して更新も行えるなど、手法は稼働以降も増えており、各農委で遺漏のない対応が求められる。(沼田)